

「光が眩しい。物が歪んだり欠けたりする」

——大リーグの老スカウト、黄斑変性症のお蔭で娘と打ち解け、契約も更新!

映画・健康エッセイスト 小守 ケイ

「目が霞む」。70代後半のガスは、自分の目と耳で有望新人を発掘してきたブレーブスの名スカウト。しかし、近頃は選手の動きも見難く、一人住まいの自宅の家具にぶつかり車もこする。ドラフトも迫る今、旧友で上司のピートは“データ至上主義”の若手を抑えつつ、彼の目を心配する。「大丈夫か? ノースカロライナの超高校級スラッガー、ボーが獲れないとクビだが」。



「黄斑変性症の症状。失明の恐れもあり専門医へ」

ガスは家庭医に相談するも専門医検査は断り、ノースカロライナ出張へ。一方、ピートはガスの一人娘で、母の死後、6歳で寄宿舎に入れられ、父と疎遠に育った33歳の弁護士、ミッキーに「数日パパと旅を」と持ち掛ける。娘は多忙で一旦は断ると思い直す。「他に助ける人はいない・・・」。

「何しに来たッ!」。ノースカロライナの球場。葉巻を手にした父は驚くも、娘はスマホで自分の仕事をしながら「見えなきゃ困るでしょ」と隣に座る。夜はモテル近くのバーで、かつてガスがスカウトした元大リーガーで今はレッドソックスのスカウト、ジョニーと野球談議。ジョニーがいと父との軋轢も和らぎ、娘は少々気が軽くなる。

父の“耳”と娘の“目”があればパーフェクト

「奴はカーブが打てないぞ。見て来い」。翌日も球場はボーの打撃に沸くも、ミッキーがよく見ると、変化球にはバットが全く合わない。「パパ、何で分かるの?」。父は耳からイヤフォンを外し、「音で分かる。“純粋な音”だ」。

「ボーは指名するな。カーブが打てない」。ドラフト会議の前日。ガスはピートに電話し、ジョニーにも助言する。

翌日、全米中継ドラフト会議ではレッドソックスは他選手を指名したが、ブレーブスはガスの判断を無視し、若手のデータ解析通りボーを指名!

TVでその光景を観たジョニー、父娘に「よくも騙したな」。

「引退する」。同時にガスは娘に長年の秘密も告げた。「昔、出張先で幼いお前が男に襲われかけた事が。その為、お前を守るには寄宿舎に入れ、連絡を

絶つしかなかった・・・」。初めて父の愛を実感した娘、父の仕事にも敬意が湧き、翌日、モテルの息子、リゴの投球に“純粋な音”を聞くとピートに電話。「逸材よ!」。

球団テストでリゴがボーを連続三振させると、「ボー獲得は失敗。データだけじゃダメだ」。一転ガスは契約更新、娘もリゴ入団の球団代理人に!「私も野球が大好きよ」。

■ 映画の見所 ■

新旧スカウトの世代対立を織り込んで父娘の葛藤を描く映画。ガスには、俳優引退宣言を撤回し銀幕復帰した名監督&名優C・イーストウッド。監督に愛弟子R・ロレンツを、娘役に若手実力派E・アダムスを起用し、はまり役の頑固オヤジを嬉々として演じている!



「人生の特等席」
Blu-ray 2,381円+税
DVD 1,429円+税
発売元: ワーナー・ブラザーズ
ホームエンターテイメント

日本でも増えてきた加齢黄斑変性症

【監修】公益財団法人結核予防会 理事
総合健診推進センター 所長 宮崎 滋

加齢黄斑変性症は、欧米では成人の失明原因の第一ですが、日本では第4位で50歳以上の約1%に出現し、男性に多い疾患です。黄斑は、カメラのフィルムに相当する網膜の中央にあり、障害されると周辺は見えますが、視野の中心がよく見えない、文字が読めない、物が歪むなどの症状が生じます。原因は、網膜

下に加齢と共に老廃物が溜る事により血管内皮増殖因子が増えて異常血管を作り、その周囲に浮腫や出血が起るためです。

治療には血管内皮増殖因子を抑える薬の眼球内注射や、光に反応する薬を静脈注射し、異常血管に薬が到達した頃レーザー光線を当て血管を閉塞させる方法等があります。予防の第一は禁煙で、亜鉛を多く含む牡蠣や抗酸化ビタミンを含む濃緑野菜の摂取が有効で、肥満なら減量します。症状がなくても、50歳を過ぎたら眼科検診をお勧めします。